



令和8年7月31日

成長分野転換基金（成長分野転換枠・通常審査）の公募選定結果をお知らせします

成長分野転換基金の一部のメニューにおいて公募を行い、10件を選定しましたのでお知らせいたします。

1. 事業の概要

「成長分野転換基金」は、デジタル・グリーン等の成長分野への学部転換等を支援する目的で、令和4年度第2次補正予算で造成したものです。令和7年度補正予算で200億円を積み増し、既存分と合わせて1,000億円規模で再始動しました。将来の社会・産業構造変化を見据え、大規模大学を含めて、成長分野への学部等転換・重点分野の人材育成を推進していくため、以下の枠組みによる支援を行います。

- ・支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等（対象：公私立大学）
 - ①成長分野転換枠（先行審査、通常審査）
 - ②大規模文理横断転換枠
- ・支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化（対象：国公立の大学院・高専）

このうち、支援1①成長分野転換枠（通常審査）については、令和8年1月14日～2月27日で公募を受け付けた上、本事業の実施機関である独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（以下「機構」）に設置された外部有識者からなる大学・高専機能強化支援事業選定委員会における審査を踏まえ、機構において選定を行いました。

2. 選定結果

10件（公立大学：2件、私立大学：8件）

3. 今後のスケジュール

順次、選定された大学への支援を開始する予定です。なお、支援1②大規模文理横断転換枠及び支援2については、8月～9月頃を目途に選定する予定です。

4. 参考

本選定結果について、文部科学省及び機構のウェブサイトに掲載します。

URL（文部科学省）：https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kinoukyouka/index.html

URL（機構）：<https://www.niad.ac.jp/josei/selection/>

<別添1>選定大学一覧

<別添2>事業概要

<担当>

文部科学省高等教育局専門教育課

企画官 星 幹崇（内線 2516）

課長補佐 中村 侑紀（内線 2097）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4964（直通）

成長分野転換基金 支援 1（学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援） 成長分野転換枠（通常審査）の選定大学一覧

設置 区分	大学名	改組後の学部・学科名（※1）	申請概要（※2）
私立	北海学園大学	情報科学部	【養成する人材像】 情報科学を基盤として半導体、AI 等の分野を横断的に理解し、地域産業の高度化や新たな価値創造を担う理工系人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 電子回路、ロボット・ドローン、AI・機械学習等 【連携する組織】 北海道半導体人材育成等推進協議会に参画する企業や北海道庁、札幌市を中心とした道内自治体等
私立	北海道情報大学	総合情報学部情報理工学科	【養成する人材像】 AI・宇宙・バイオ等の重要技術領域を支える高度情報人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 データマイニング、人工知能、画像処理、GIS（地理情報システム）、環境シミュレーション等 【連携する組織】 学内の健康情報科学研究センター、宇宙情報センター、江別市役所、江別商工会議所等
私立	人間総合科学大学	次世代生命科学部デジタル生命科学科	【養成する人材像】 生命科学と情報科学を融合した研究開発や社会実装を担う高度専門人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 遺伝子工学、ゲノム解析、バイオ統計学等 【連携する組織】 埼玉県、さいたま市等の自治体、埼玉県産業振興公社、武蔵野銀行、さいたま市商工会議所等

私立	麻布大学	統合健康科学部食・環境共創学科	【養成する人材像】 GX やフードテック分野の発展を支える実践的人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 食品科学、環境分析学、ドローン技術、GIS（地理情報システム）、データサイエンス等 【連携する組織】 地域自治体、食品・環境関連企業 等
私立	神奈川工科大学	工学部総合理工学科	【養成する人材像】 複数の工学分野を横断的に活用して社会課題の解決に取り組むことができる、クロスエンジニアリング人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 AI、ロボット、光電融合技術、エネルギー工学、GX 関連技術等 【連携する組織】 厚木市等の地域自治体、商工会議所、地域企業、教育交流協定締結高等学校等
公立	山梨県立大学	国際政策学部メイカーズ学科	【養成する人材像】 県立甲府工業高校と連携・接続し、7 年間の一貫教育により、新しいデジタル分野のものづくり人材である「メイカーズ」を育成 【特徴的な科目や教育内容の例】 デジタル製造、データサイエンス、エンジニアリング、マテリアルサイエンス等 【連携する組織】 山梨県商工会議所連合会、山梨中央銀行（地域連携プラットフォーム）、山梨大学（大学等連携推進法人）、県立甲府工業高校等

私立	愛知淑徳大学	応用生物学部	【養成する人材像】 生命科学を基盤として食品・化粧品・バイオ関連産業における社会や地域が求めるバイオ・ヘルスケア分野の専門人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 分子生物学、分析化学、食品科学、化粧品科学等 【連携する組織】 公的研究機関（農研機構等）、食品・化粧品関連企業等
私立	立命館大学	生命科学部（※3）	【養成する人材像】 生命科学と情報科学の融合によるライフサイエンス分野の研究開発や社会実装を担う高度バイオ DX 人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 バイオインフォマティクス、バイオデータサイエンス、ゲノム科学、合成生物学、AI 創薬等 【連携する組織】 滋賀県、草津市、バイオ関連企業 等
公立	奈良県立大学	地域創造学部環境情報学科	【養成する人材像】 情報科学及び環境科学の知識を基盤として、地域や社会の課題解決に取り組むことができる DX・GX 人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 アルゴリズム、ビッグデータ解析、メカトロニクス、設計・CAD 等 【連携する組織】 学内附属高校（DX ハイスクール）、奈良女子大学、奈良教育大学、地域自治体、地域産業界・企業等

私立	広島国際大学	健康スポーツ学部スポーツデータサイエンス学科	【養成する人材像】 スポーツ科学と情報科学を融合したスポーツ DX・ヘルスケア DX 人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 人体運動解析、統計学、プログラミング、データサイエンス、センシング工学等 【連携する組織】 東広島市等
----	--------	------------------------	---

(※ 1) 改組後の学部・学科名は申請書ベースの記載であり、今後、名称の変更がありうる。改組のためには、別途、設置認可等の手続きが必要。

(※ 2) 申請概要は申請書を基に文部科学省にて作成

(※ 3) 既存組織の定員増を行う取組。

大学・高専機能強化支援事業（成長分野転換基金）

令和7年度補正予算額 200億円
※令和4年度第2次補正予算額 3,002億円

現状・課題

- **少子高齢化**に加え、2040年には、**生産年齢人口の減少による働き手不足**により、我が国の社会・産業構造の大きな変化が見込まれる一方で、今後求められる理系人材を輩出する**理系学部**の定員が**未だ少ない**状況。
- また、日本成長戦略本部において、「**未来成長分野に挑戦する人材育成のための大学改革、高専等の職業教育充実**」について検討課題とされており、**半導体等の重点分野に関する人材育成を迅速に取り組む**必要。
- さらに、成長分野における即戦力となる人材育成を行う高専について、**公立高専の新設**の動きもある状況。

<2040年の産業構造・就業構造推計>

	管理職	専門的技術的職業 うちAI・ロボット等の 活用を担う人材	事務	販売	サービス	生産工程	輸送・機械 運転	運搬・清掃・ 包装等	
2040年の労働需要 (2040年の労働需要推計、※現在 の人口推計に基づく)	124 ^{※A} (175万人)	1387 ^{※A} (1338万人)	498 ^{※A} (172万人)	1166 ^{※A} (1380万人)	735 ^{※A} (780万人)	714 ^{※A} (724万人)	865 ^{※A} (983万人)	193 ^{※A} (168万人)	415 ^{※A} (208万人)
供給とのミスマッチ	51 ^{※A}	-49 ^{※A}	-326 ^{※A}	214 ^{※A}	51 ^{※A}	10 ^{※A}	-281 ^{※A}	-24 ^{※A}	-146 ^{※A}
*2021年現在の就業数	14,091人	1,281万人	1,965万人	1,420万人	874万人	880万人	885万人	244万人	516万人

	高専	短大・高専等	大学理系	院卒理系	大学文系	院卒文系
2040年の労働需要 (2040年の労働需要推計、※現在 の人口推計に基づく)	2112 ^{※A} (2075万人)	1212 ^{※A} (1116万人)	685 ^{※A} (625万人)	227 ^{※A} (181万人)	1545 ^{※A} (1573万人)	83 ^{※A} (90万人)
供給とのミスマッチ	-37 ^{※A}	-52 ^{※A}	-60 ^{※A}	-47 ^{※A}	28 ^{※A}	7 ^{※A}
*2021年現在の就業数	2735万人	1,240万人	563万人	154万人	1,332万人	70万人

将来の社会・産業構造変化を見据え、大規模大学を含めて、成長分野への学部等転換・重点分野の人材育成を一層強力に推進

支援内容

(1) 学部再編等による特定成長分野（デジタル・グリーン等）への転換等（支援1）

- ①「**成長分野転換枠**」（継続分） 学部再編等に必要な経費20億円程度まで
・産業界との連携を実施する場合に助成率を引き上げ

②「**大規模文理横断転換枠**」（新設） **大規模大学を含め、文理横断の学部再編等を対象にした支援枠を新設し、必要な経費40億円程度まで**

- ・施設設備等の上限額を引き上げるとともに、支援対象経費に「**新設理系学部の教員人件費**」、「**土地取得費**」等を追加
- ・大学院の設置・拡充、**産業界との連携**を実施する場合に助成率を引き上げ
- ・**文系学部の定員減を要件化**、既存の文系学部の**教育の質の向上**に向け、**ダブルメジャーを導入するなど高度なレベルの文理融合教育**を実施する場合も支援対象
- ・教育課程や入学者選抜における工夫、高校改革を行う自治体、DXハイスクール・SSHとの継続的な連携等について確認を実施

○支援対象（①、②共通）：公私立の大学の学部・学科（理工農の学位分野が対象） ※原則8年以内（最長10年）支援、令和14年度まで受付

(2) 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化（支援2）

これまでの高度情報専門人材の育成に加え、**AI、半導体、量子、造船、バイオ、航空等の経済成長の実現に資する重点分野**に係る高専等の学科・コースの設置等に伴う体制強化に必要な施設・設備整備費、教員人件費等**10億円程度**まで

※情報系分野の**高専新設・転換**の場合、上限額を**20億円程度**まで引き上げ

○支援対象：国公立の大学（大学院段階）・高専 ※最長10年支援、令和10年度まで受付

執行プロセスの見直しも実施

- ・構想段階から大学との対話・伴走支援を実施
- ・申請の事前段階から個別の構想の熟度を高め、より質や実現可能性の高い取組構想を厳選

【事業スキーム】



期待される効果

大規模大学の学部再編等も契機にしつつ、我が国の大学等の文理分断からの脱却を含む成長分野への組織転換を図ることで、社会・産業構造の変化に対応できる人材を育成・輩出し、一人一人の豊かさや我が国の国際競争力の向上、新たな価値の創造等に資する

（担当：高等教育局専門教育課）